



城里町に関係のある登場人物紹介 ③

◆黒沢 忠三郎（十八烈士）
くろさわ ちゅうさぶろう



「近世明義傳」/ 鯉淵晴人氏所蔵

天保元年（1830年）〜万延元年（1860年）7月11日／病死
／31歳／水戸藩士（大番組）
※城里町出身ではありませんが、今回の映画で城里町出身の平塚真介さんが役を演じます。

名は勝算。父は黒沢林蔵勝正（大関増長三男）、母は父の義兄黒沢勝強の娘。桜田事件の大関和七郎は実弟、廣岡子之次郎は甥。幼いころから体格が良かったので、剣道場に通わせたところ上達目覚ましく、さらに槍術、馬術、水泳などを習った。学問にも励み、藤田東湖、戸田忠敬の教えを受けたこともある。

嘉永6年（1853年）6月、25歳で江戸藩邸を護るための御床机廻を命じられ出仕する。翌安政元年（1854年）正月、ペリーが再び来航すると、江戸藩邸警護を命じられ上府、日米和親条約の締結される4月まで滞

在した。安政2年2月、家督を継ぎ百石、小晋請組となる。同6月馬廻組、同5年正月、大番組士となる。

「戊午の密勅」降下の時はその全国回達を主張し、「安政の大獄」が始まると、大老井伊直弼を除き幕政を正さんとする計画に参加していった。小金や長岡の屯集にも参加し、謹慎処分を受けた。安政7年（1860年）1月には弟大関、甥廣岡とともに水戸を脱して江戸へ上り、薩摩藩士の有村兄弟や田中直之進らと打ち合わせをした。

襲撃の際、原作ではその長身を買われ、襲撃合図の短銃を撃つ役目を与えられている。（発砲者に関しては諸説あり。）左翼（お濠側）黒沢隊の隊長として激闘、肩と耳、脇の下を負傷するが現場を脱し脇坂家（龍野藩）へ佐野蓮田、斎藤とともに自訴した。同日暮れ方、一同は細川家（熊本藩）へ預け替えられ、幕府の取調べを受ける。重傷であったが、手当てにより命は取り留めた。その後、弟大関とともに前田家（富山藩）へまた預け替えられ、事変以後、はじめて兄弟二人で過ごす機会がもてた。だが、彼一人は4月21日に九鬼家（三田

藩）へ移され、7月12日、九鬼家で病死する。忠三郎の大刀は刃こぼれがはなはだしく鋸のようで、奮戦のあとを示していたとのことである。贈正五位。
※水戸藩開藩四百年記念『桜田門外ノ変』映画化支援の会より情報提供

★ 10月16日（土）より全国公開！！ ★

茨城県内から発信している映画『桜田門外ノ変』がいよいよ公開されます。ぜひご鑑賞ください。

近隣の
上映劇場

水戸市	シネプレックス水戸
	TOHOシネマズ水戸内原
ひたちなか市	TOHOシネマズひたちなか
笠間市	笠間ポレポレホール

★ オープンロケセット・記念展示館 好評公開中 ★

映画『桜田門外ノ変』最大の山場、桜田門外での襲撃現場と、背景となる江戸城の桜田門外周辺（桜田門と濠、濠沿いに並ぶ彦根藩・安芸広島藩・杵築藩・米沢藩の大名屋敷など）を再現した日本最大級のオープンロケセットを一般公開しています。また、場内には記念展示館も併設され、水戸藩や幕末の歴史を紹介するとともに、キャスティング紹介や臨場感あふれるロケ風景など、映画『桜田門外ノ変』の世界をご覧ください。お誘い合わせのうえご来場ください。

公開期間 平成23年3月31日まで（予定） 会場 水戸市千波湖畔（水戸市千波町3080番地ほか）

時間 午前9時～午後5時（入場受付／午後4時まで）

料金 大人（中学生以上）／800円、小学生／500円、小学生未満／無料 ※団体割引・特別割引あり

主催・問合せ 水戸藩開藩四百年記念『桜田門外ノ変』映画化支援の会 ☎029-244-3941